

第7回 戸田市立中学校における 部活動の地域展開及び地域連携に係る 検討委員会



日時：令和8年6月3日（水） 15時～16時30分

場所：~~戸田市立教育センター 2階会議室~~ ⇒Zoomに変更

委員一覧

(委員長：川和田亨教育部長)

- | | |
|--|---------------------------------------|
| (1) 小学校長会
山根 淳一 (喜沢小学校 校長) | (11) 市民生活部文化スポーツ課長
金澤 哲 |
| (2) 中学校長会
片岡 昭博 (戸田東中学校 校長) | (12) 戸田市スポーツセンター所長
赤坂 直樹 |
| (3) 小学校体育連盟 会長
武藤 昌博 (戸田第一小学校 校長) | (13) 教育委員会学務課長
新井 宏和 |
| (4) 中学校体育連盟 会長
渡部 淳子 (新曽中学校 校長) | (14) 教育委員会生涯学習課長
石橋 晴美 |
| (5) 中学校体育連盟 副会長
井原 聡 (戸田東中学校 教頭) | (15) 教育委員会総務課長
重信 雄太 |
| (6) 中学校体育連盟 理事長
清水 文雄 (美笹中学校 教諭) | (16) 次長兼教育委員会教育政策室長
片境 俊貴 |
| (7) 戸田市公立学校PTA連合会
西尾 達樹 (戸田東小学校 PTA会長) | (17) 副参事兼教育委員会教育政策室担当課長
田野 正毅 |
| (8) 戸田市スポーツ協会 副会長
萩原 哲夫 | (18) 教育委員会教育政策室主幹(事務局)
菊地 孝徳・中里 直之 |
| (9) 戸田市スポーツ少年団 副本部長兼事務局長
須田 真司 | (19) 部活動コーディネーター
板橋 哲 |
| (10) 戸田市総合型地域スポーツクラブ代表
小肥 知広 (NPO法人ワールドスポーツファミリー) | |

第7回（令和8年6月3日）の内容

説明および報告

- （１）前回の振り返り及び令和8年度実証事業について
- （２）関係者アンケートの結果について
- （３）今後のスケジュールについて

協議

- （１）令和9年度以降の運営体制について
- （２）受益者負担の目安について
- （３）その他

説明および報告

(1) 前回の振り返り及び令和8年度実証事業について

第6回（令和8年1月30日）の振り返り

説明および報告

- （1）第5回の振り返り及び令和7年度実証事業の状況について
- （2）国の最新の動向について
- （3）市内地域クラブの状況について

協議

- （1）教職員等の兼職兼業について ⇒ 4月から施行開始
- （2）地域クラブの認定について ⇒ 次回検討し、秋頃から募集開始
- （3）今後のスケジュールについて

令和8年度 部活動関連 各事業の実施スケジュール

部活動支援 (地域連携)

平日

休日

①

R6任用開始

1月 募集開始 2月 各学校に意向確認
2月 面接実施 4月 任用開始

- ◎顧問に代わる人材を配置
- 会計年度任用職員 ○単独指導可

部活動指導員
(単独指導可)

連携

部活動
顧問

サポート

部活動サポート
(顧問の支援)

部活動支援

③

平日

休日

5月 各学校に意向確認
6月 各学校から意向の提出
7月以降 指導開始(～3月)

- ◎指導経験のない顧問へのサポート
- 市教委が民間委託、支援員を派遣

平日

休日

②

部活動ボランティア
(顧問の支援)

サポート

- ◎指導経験のない顧問へのサポート
- 学校が推薦、市教委が委嘱
- 文化部も推薦可

部活動支援

部活動の地域展開
(単独指導可)

R4～8
実証研究

- ◎陸上・ボートで校区を越えた活動
- 希望する教師等の兼職兼業が可能

④

休日

4月 学校説明会(陸上・ボート)
6～7月 指導開始(～3月)

地域展開

検討

部活動の地域展開・地域連携に係る検討委員会(年4回)

令和9年8月で「休日の部活動」を終了し、9月から地域クラブとして活動予定



令和9年度 9月以降（休日）の運営体制

戸田市教育委員会

認定
指導助言等

設置

統括コーディネーター団体

支援

管理・
運営

〇〇クラブ 〇〇クラブ 〇〇クラブ

○市の定める認定要件のもと、自主的に運営できる
地域クラブ

（緊急連絡、金銭管理、保険加入等）

※活動の周知、活動場所や指導者の斡旋、財政支援などの
一定の支援を予定

自主運営型 地域クラブ

〇〇クラブ ... 〇〇クラブ

○市が設置した統括コーディネーター
団体が直接管理・運営を行う
地域クラブ

※生徒が希望する種目の団体がない
場合などに設置を検討

直営型 地域クラブ

戸田市認定地域クラブ

民間等のスポーツ・
文化芸術活動

令和8年度 地域展開実証事業（休日）の運営体制

戸田市教育委員会

認定
指導助言等

委託

統括コーディネーター団体（民間事業者）

支援

管理・
運営

令和9年度を見据えて
校区を越えた活動を
各学校で積極的に実施

陸上クラブ

- 市の定める認定要件のもと、
自主的に運営できる地域クラブ
(緊急連絡、金銭管理、保険加入等)

自主運営型 地域クラブ

ボートクラブ

- 市が設置した統括コーディネーター
団体が直接管理・運営を行う
地域クラブ

直営型 地域クラブ

戸田市認定地域クラブ

部活動

- 外部人材の積極的活用
- ・部活動指導員
- ・部活動ボランティア
- ・部活動サポート事業 など
- ◎校区を越えた部活動の試行
- ・地域クラブとの合同練習
- ・合同部活動 など

民間等のスポーツ・
文化芸術活動

部活動の地域展開とは？

なぜ改革が必要なのか？

部活動 (学校が主体)



- **少子化**により学校の規模が小さくなる中、1つの学校単位では**チームスポーツなどが十分に実施できない**
- 学校における**働き方改革**の必要性が高まる中、**学校の教師のみに頼る指導体制は維持できない**

【戸田市の状況】

- ・ 生徒数の推移予測
R8 : 3,636人 ⇒ R17 : 3,039人
- ・ 運動部所属生徒数の割合
H26 : 72.6% ⇒ R7 : 60.1%
- ・ 新人戦に合同チームで出場した部活動がある学校
R7 : 6校中4校 (野球、サッカー、ソフトボール)

地域クラブ (地域が主体)



- **将来にわたって生徒が継続的にスポーツに親しむ**機会の確保・充実
- 障害のある生徒を含め、生徒が**希望に応じて多種多様な活動に参加**できる環境を整備
- 部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、**新たな価値**を創出

他校の生徒や
地域指導者との
つながり

研修を受けた
指導者による
専門指導

複数の目による
安心・安全な
活動体制

令和8年度 休日地域クラブ実証事業の運営体制

戸田市教育委員会

認定
指導助言等

委託

株式会社
オークスベストフィットネス



支援

管理・
運営

陸上クラブ

- 市の定める認定要件のもと、
自主的に運営できる地域クラブ

NPO法人
ワールドスポーツファミリー

ボートクラブ

- 市が設置した統括コーディネーター
団体が直接管理・運営を行う
地域クラブ

株式会社オークス
ベストフィットネス



戸田市認定地域クラブ

部活動

- 外部人材の積極的活用
 - ・部活動指導員
 - ・部活動ボランティア
 - ・部活動サポート事業 など
- ◎校区を越えた部活動の試行
 - ・地域クラブとの合同練習
 - ・合同部活動 など

民間等のスポーツ・
文化芸術活動



休日部活動の地域展開に向けた 実証事業を行います

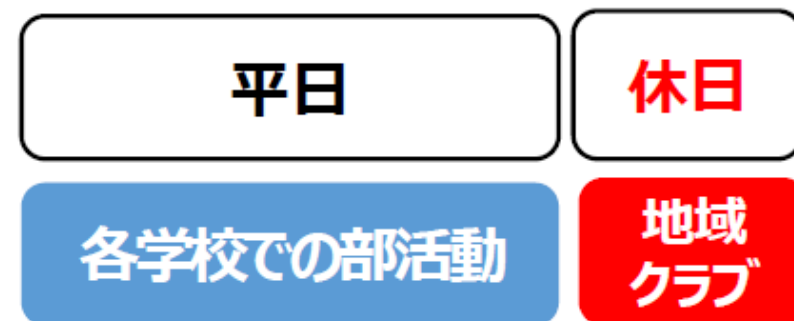
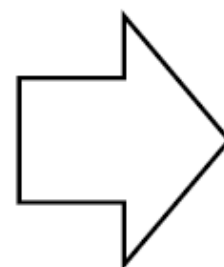
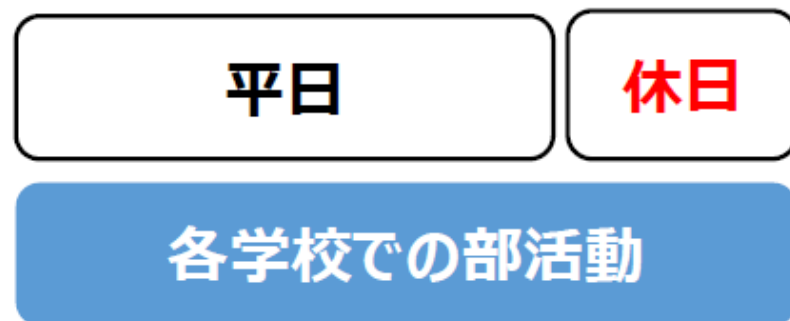


ボートや陸上競技に興味のある中学生の皆さんへ

令和8年度は以下の2種目で、**休日のみ「地域クラブ」**として活動します。

※学校以外が主体となるクラブ

地域クラブには、**学校や所属する部活動によらず、誰でも参加できます。**



クラブ	 戸田ボートクラブ （仮称）	戸田陸上クラブ （仮称） 
参加対象	○休日にボートをやりたい市内中学 1 ～ 3 年生 ・学校に関係なく参加できます ・ボート部に所属していなくても参加できます	○休日に陸上競技をやりたい市内中学 1 ～ 3 年生 ・学校に関係なく参加できます ・陸上部に所属していなくても参加できます
主な活動拠点	戸田ボートコース または戸田中学校 被服室 	戸田市スポーツセンター 陸上競技場 他 
期間 回数 時間	令和8年 6月 ～令和9年3月 休日のうち月 3 ～ 4 回程度 原則、土曜日の11:00～14:00 ※曜日や時間は時期によって変更あり	令和8年 9月 ～令和9年3月 休日のうち月 2 ～ 3 回 程度 原則、土曜日の9:00～11:00 ※曜日や時間は時期によって変更あり
参加費用	年間保険料800円 ※大会参加費等は必要に応じて別途徴収	年間保険料800円 ※今後の状況により施設利用料等が発生する場合は、必要に応じ別途徴収
実施主体	株式会社 オックスベストフィットネス 	NPO法人 ワールドスポーツファミリー 
指導者	オックスベストフィットネスに所属する ボートの専門指導ができる指導者（ 3名程度 ） ※兼職兼業を希望する先生や部活動指導員がいる場合は、一緒に指導します	ワールドスポーツファミリーに所属する 陸上競技の専門指導ができる指導者（ 5 ～ 7 名程度 ） ※兼職兼業を希望する先生や部活動指導員がいる場合は、一緒に指導します

現在の登録状況について（6月4日現在）

	ボート	陸上
活動開始日	6月6日（土） ※保護者説明会・見学会も同時開催	9月12日（土） ※7月26日（日）に、合同部活動として プレ体験会を実施予定（顧問+WSF指導者）
参加申込 生徒数	42名 （随時募集中）	18名 （随時募集中）
参加者内訳	○戸田中ボート部 38／39名 ・1年 12／13名 ・2年 17／17名 ・3年 9／9名 ○戸田中学校でその他の部活動 1名 ○その他の中学校 2名（喜沢中、新曽中）	○戸田中 3名 ○戸田東中 0名 ○美笹中 3名 ○喜沢中 2名 ○新曽中 6名 ○笹田中 4名
指導者 登録数	4名 （うち3名が指導）	10名程度の見込み （うち5～7名が指導）
指導者登録 内訳	・昨年度実証事業から継続の指導者 3名 ・兼職兼業教職員 1名	・ワールドスポーツファミリー指導者 ・兼職兼業教職員 ・部活動指導員

説明および報告

(2) 関係者アンケートの結果について

- 調査期間 令和8年5月1日～5月22日
- 調査対象
 - ・児童生徒（小6～中2）
 - ・保護者（小6～中2）
 - ・小・中学校教職員等（事務職員も含む）
- 調査方法 Google Formsによる回答

（児童生徒）令和9年9月以降の、平日の部活動と休日の地域クラブの組み合わせについて

平日の部活動と休日の地域クラブの組み合わせについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

小6児童

n=1209(91%)



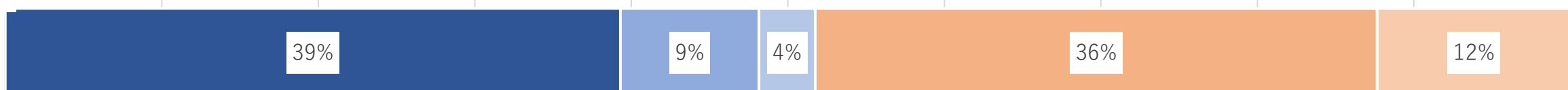
中1生徒

n=1028(84%)



中2生徒

n=1061(84%)



- ・ 休日に活動したい生徒は、全体の約半数。
（休日はゆっくりしたい、させたい家庭も多い）
- ・ 下の学年ほど複数種目に取り組みたい割合が多い。
（1つの種目に縛られないマルチな活動）
- ・ 部活動引退後も休日だけ活動したい3年生への活動機会の提供。

(児童生徒) どんな地域クラブがあったらよいか

これまでの部活動に無い種目で、どんな地域クラブがあったらいいと思いますか。(5人以上の回答を抜粋)

小6 児童

種目名	回答数
ダンス	48
美術	33
水泳	24
硬式テニス	16
手芸	8
パソコン (プログラミング)	7
弓道	7
茶道	6
eスポーツ	6
料理	6
家庭科	6
ドッジボール	5
ゲーム	5
軽音楽	5
合唱	5
チアダンス	5
かるた	5
空手	5

中1・中2
生徒

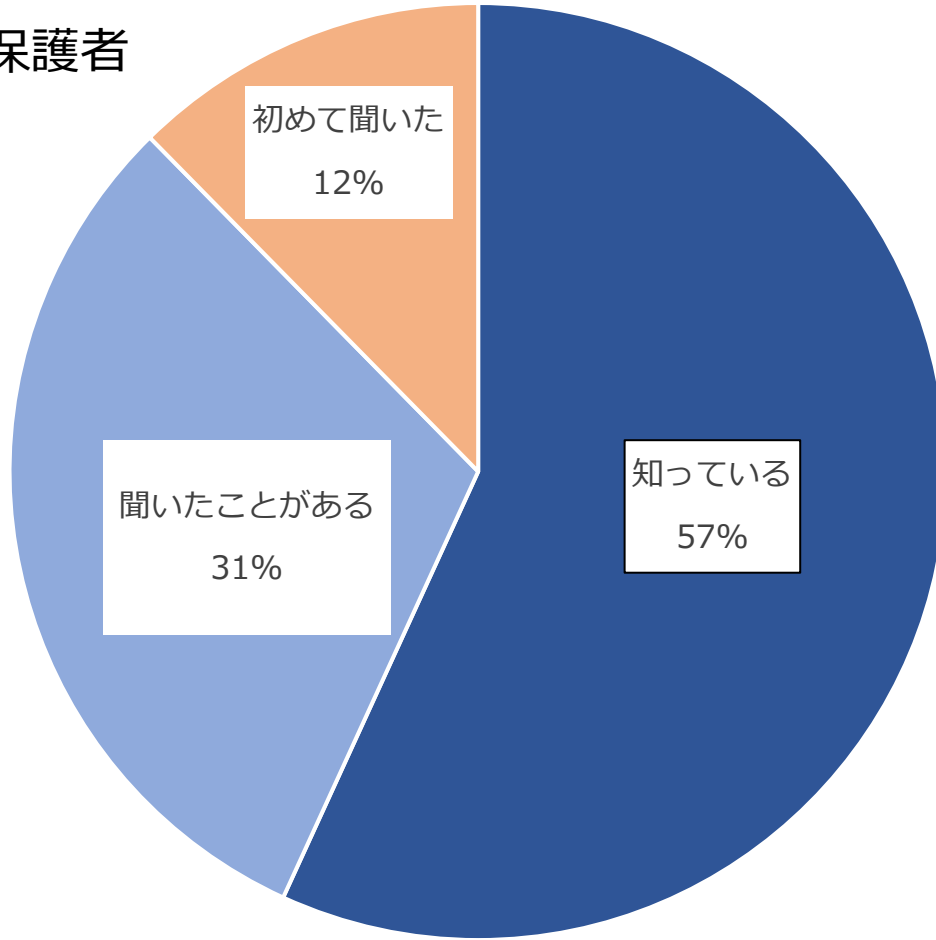
種目名	回答数
ダンス	42
水泳	31
美術	26
軽音楽	22
硬式テニス	9
茶道	9
パソコン (プログラミング)	8
弓道	7
料理	6
柔道	6
文芸	5
ドッジボール	5
体操	5
eスポーツ	5
家庭科	5

- ・既存の部活動にない活動への期待がある。
- ・平日のみの部活動が多い、文化芸術系の活動を希望する意見もある。

(保護者) 「部活動の地域展開」についての認知度

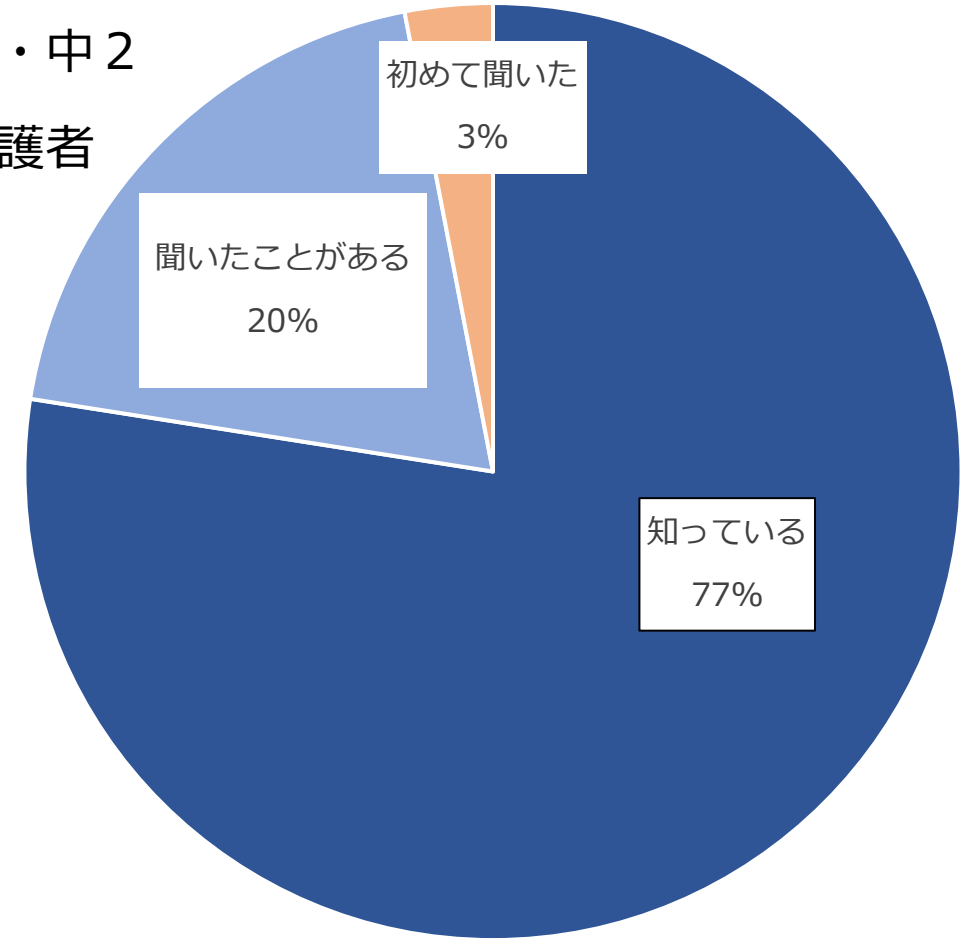
「部活動の地域展開」について、知っていますか。

小6 保護者



n=461(35%)

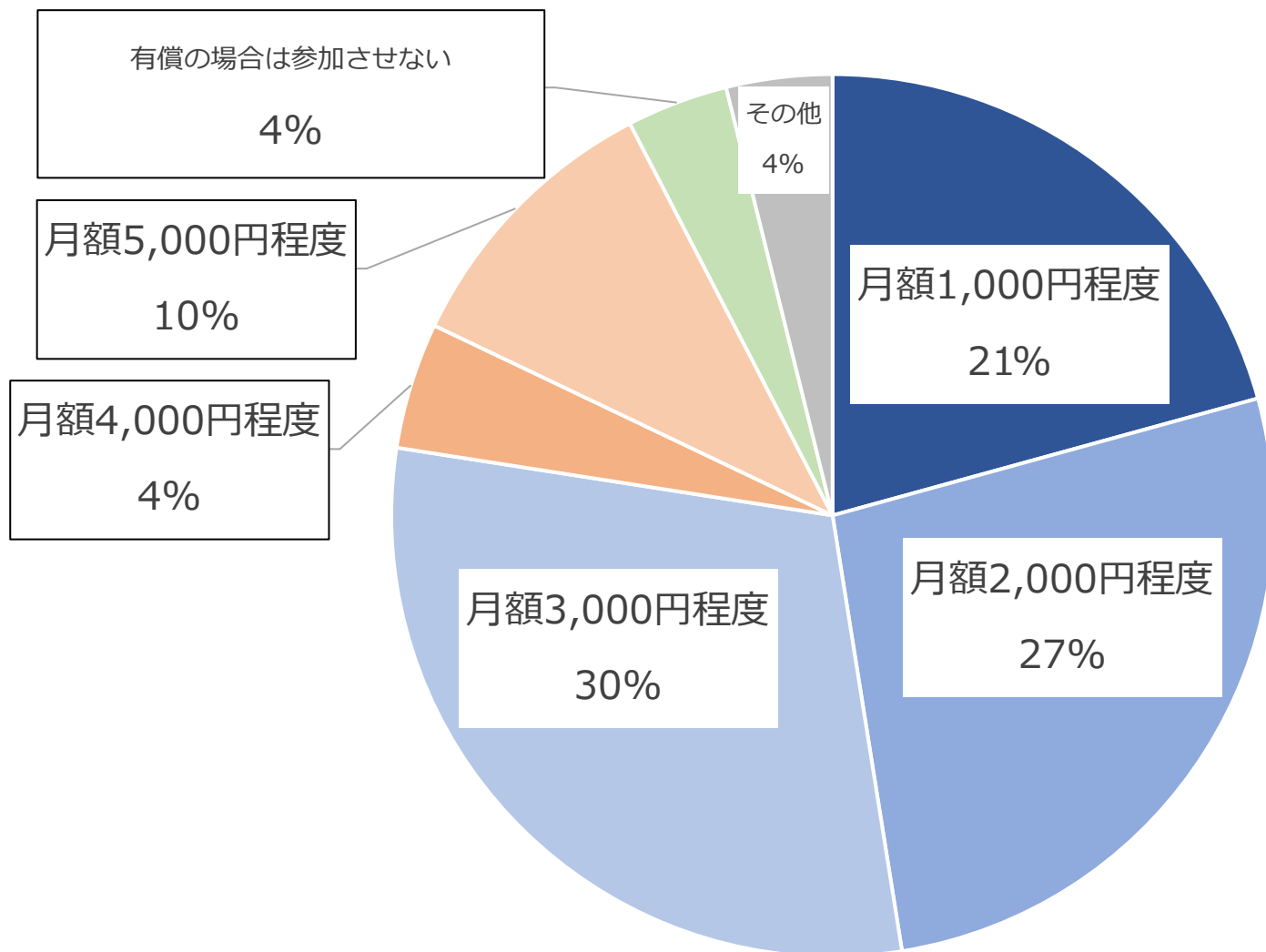
中1・中2
保護者



n=826(33%)

(保護者) 受益者負担の金額について

月額に参加費がいくらまでなら、休日の地域クラブに参加させたいと思いますか。



【その他】の意見から

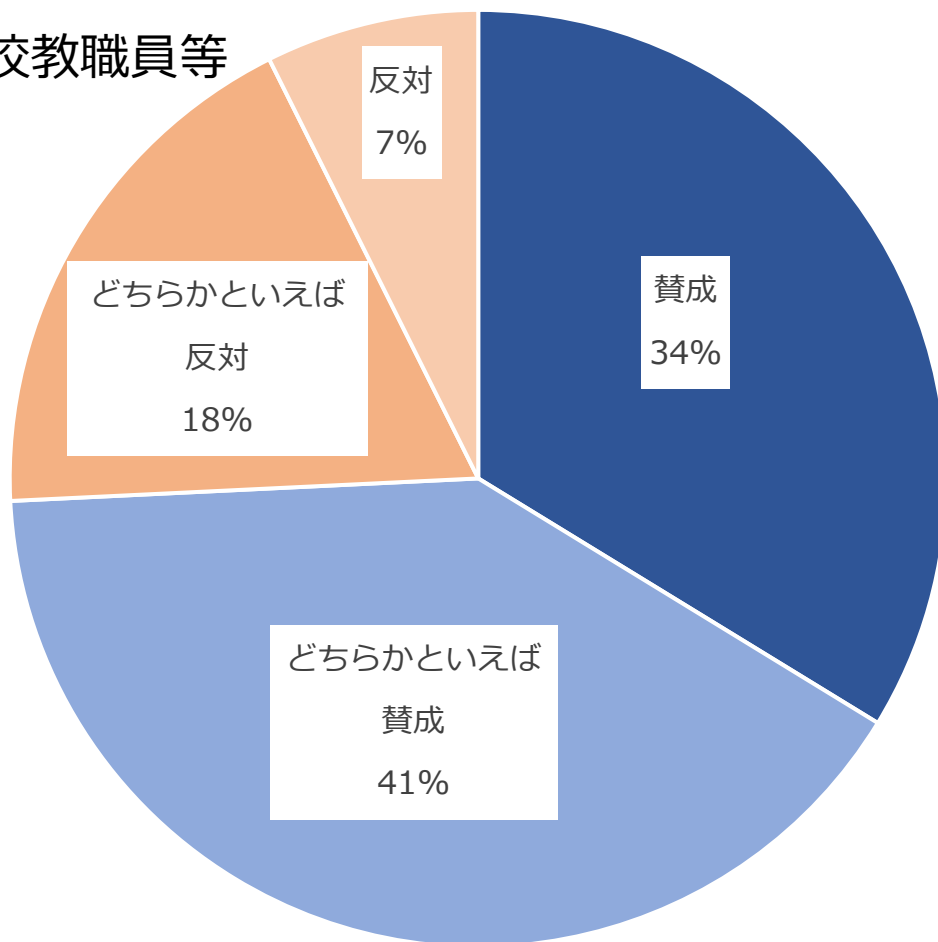
- ・ 内容が納得できるものであれば負担したい。
(専門的な指導が受けられるなど)
- ・ 500円ワンコイン制だと参加しやすい。
- ・ 種目等によって金額は変わるものだと考えている。
- ・ 休日の部活動がなくなる分、部費が減額されるとよい。
- ・ できれば無料がよい。

n=1286(34%)

(中学校教職員等) 部活動地域展開への思い

部活動が学校から地域へ展開することについて、どう思いますか。

中学校教職員等



n=163(82%)

【賛成の主な意見】

○教員にとって部活動の負担が大きい

- ・顧問の善意に支えられてきた部活動は、もはや持続可能ではなく、若者の教員離れを加速させている。

○従来の学校の役割を見直し、よりスリム化すべき

- ・学校本来の目的である授業、学級経営、行事等にエネルギーを傾けられるよう、部活動の地域展開を切に進めてほしい。

○生徒がこれまでより専門的な指導が受けられる

- ・地域の方の中にも、専門的な技術をもっていて指導を希望している方も多くいるので、お互い連携し合いながら、良い条件・良い環境を整えていけるとよい。

【反対の主な意見】

○生徒指導上の問題が多発する恐れがある

- ・休日に起きた生徒指導の問題を地域クラブで解決してくれるのか。そこができないのであれば、かえって教員にとって負担が増える。

○教育的意義が高く、ほかの活動では得られない価値がある

- ・部活動を通して子どもたちの成長を感じられたり、子どもとともに成長できたりする経験は唯一無二のものだと感じている。

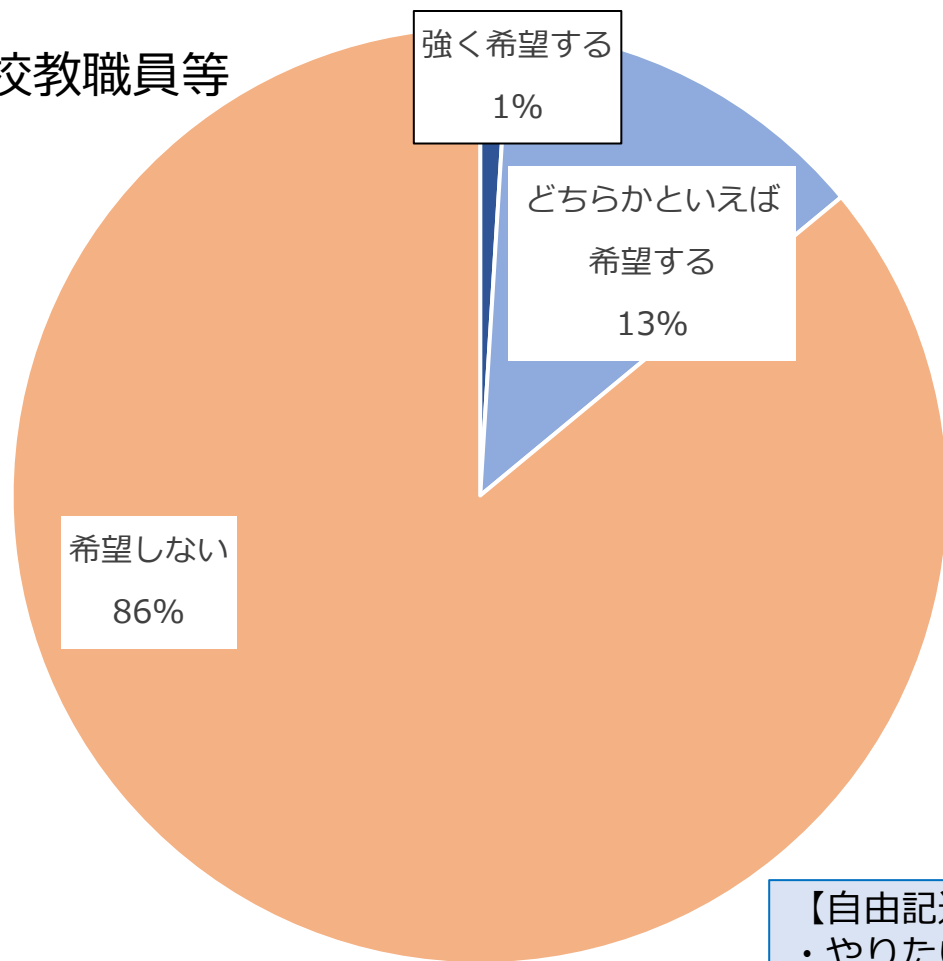
【その他の意見】

- ・地域展開後の具体的なイメージがわからないので、不安がある。

(教職員) 兼職兼業の希望について

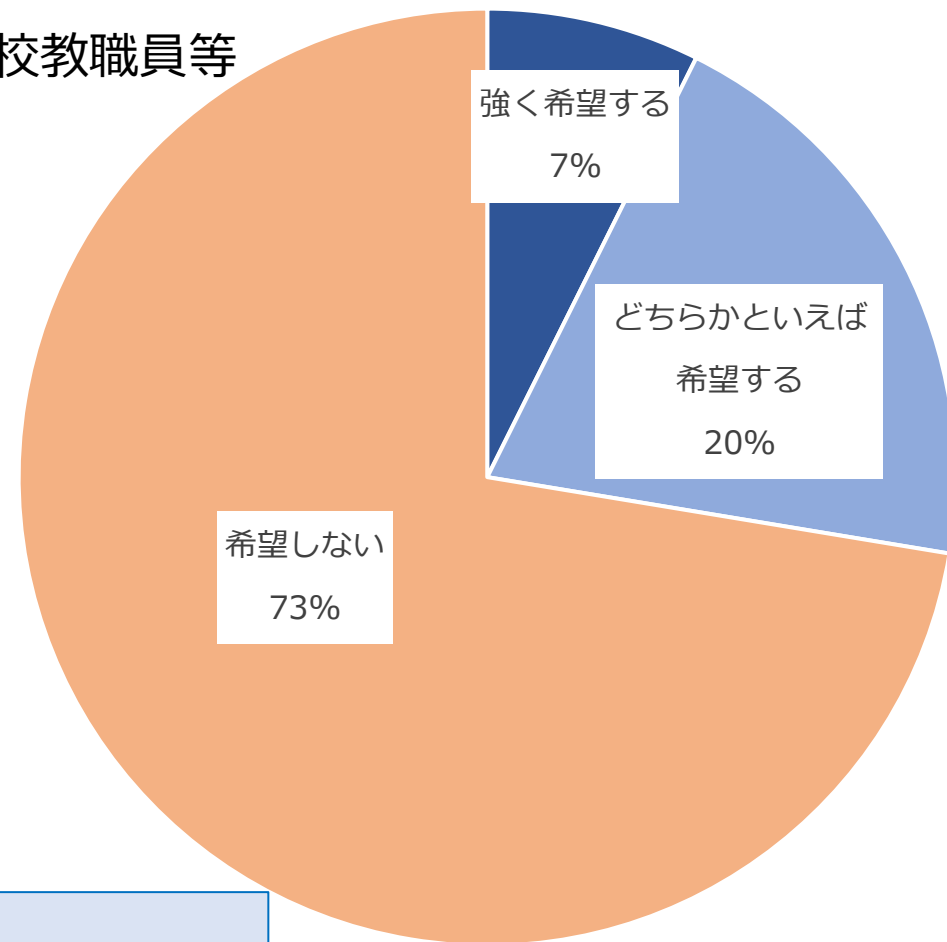
兼職兼業の申請をして、休日の地域クラブの指導にあたることを希望しますか。

小学校教職員等



n=307(77%)

中学校教職員等



n=163(82%)

【自由記述から】

- ・やりたい教職員が引き続き指導に関われるような仕組みを残してほしい。
- ・顧問となった種目の指導ができないため、休日は専門的な指導ができる方をお願いしたい。

説明および報告

(3) 今後のスケジュールについて

戸田市中学校における部活動の地域展開に係るスケジュール（予定）

	令和8年度	令和9年度
前期	4月 リーフレット配信（R8地域クラブ実証事業について） 4月 実証事業開始に向けた説明会（管理職・顧問対象） 5月 実証事業開始に向けた説明会（保護者対象） 5月 各部活動 専門委員長とのヒアリング開始 6月 R8地域クラブ実証事業開始（直営型 ボートクラブ） 6月 関係団体とのヒアリング開始	○説明会等の実施 ・学校向け説明会 ・保護者・生徒向け説明会 ・認定地域団体向け説明会・研修会 ○（見学会、体験会の実施） ○地域クラブ活動参加希望取りまとめ
中期	9月 R8地域クラブ実証事業開始（自主運営型 陸上クラブ） ○地域クラブの認定に関する要綱 策定 ○認定地域クラブ募集開始 ・認定要件の確認（面接、実地調査） ○関係者へ周知 ・広報番組撮影（9月） ・広報とだ10月号に部活動地域展開のページ掲載	<u>休日の部活動終了（8月）</u> <u>休日の地域クラブ開始（9月）</u>
後期	○説明会の実施 ・学校向け説明会（指導者登録、兼職兼業手続き等の支援等） ・地域団体向け説明会（認定手続き、クラブ立ち上げ支援等） ・保護者・生徒向け説明会 ・小学校懇談会、中学校入学説明会で周知 ○認定地域クラブの調整 ・活動拠点、活動時間の割り振り ・学校施設及び備品利用のルール策定 ○保護者・生徒・教職員へアンケート調査（次年度へ向けて）	○認定地域クラブの活動状況確認【随時】 ○保護者・生徒・教職員へアンケート調査（次年度へ向けて） ・成果と課題の洗い出し ○小学校懇談会、中学校入学説明会で周知（次年度の計画について）

今後の検討課題及び検討委員会のスケジュールについて（予定）

第7回 令和8年6月3日（水）15時00分～16時30分

戸田市立教育センター—2階会議室 ⇒Zoom開催

（1）説明及び報告

- ア 前回の振り返り及び令和8年度実証事業について
- イ 関係者アンケートの結果について
- ウ 今後のスケジュールについて

（2）協議

- ア 令和9年度以降の運営体制について
- イ 受益者負担の目安について

第8回 令和8年7月10日（金）15時00分～16時30分

戸田市役所 大会議室C

（1）説明及び報告

- ア 前回の振り返り及び実証事業（ボート）の進捗について
- イ 国の補助事業（地方スポーツ振興費補助金）について
- ウ 地域クラブの拠点・活動イメージについて

（2）協議

- ア 令和9年度以降の運営体制について
- イ 受益者負担の目安について
- ウ 認定地域クラブの認定スキームについて

第9回 令和8年10月30日（金）15時00分～16時30分

戸田市立教育センター 2階会議室

（1）説明及び報告

- ア 前回の振り返り及び実証事業（陸上）の進捗について
- イ 関係者への周知・広報について

（2）協議

- ア 活動場所などの調整について
- イ 中学生が応募・参加するまでのフローについて
- ウ 地域クラブの立ち上げ支援について

第10回 令和9年2月16日（火）15時00分～16時30分

戸田市立教育センター 2階会議室

（1）説明及び報告

- ア 前回の振り返り及び令和8年度実証事業について
- イ 関係者アンケートの結果について

（2）協議

- ア 指導者登録及び研修プログラムについて
- イ 学校施設及び備品利用のルールについて
- ウ 部活動地域展開推進計画について

協議

(1) 令和9年度以降の運営体制について

令和9年度 9月以降（休日）の運営体制

戸田市教育委員会

認定
指導助言等

設置

統括コーディネーター団体

支援

管理・
運営

〇〇クラブ 〇〇クラブ 〇〇クラブ

○市の定める認定要件のもと、自主的に運営できる
地域クラブ（緊急連絡、金銭管理、保険加入等）

※活動の周知、活動場所や指導者の斡旋、財政支援などの
一定の支援を予定

自主運営型 地域クラブ

〇〇クラブ ... 〇〇クラブ

○市が設置した統括コーディネーター
団体が直接管理・運営を行う
地域クラブ

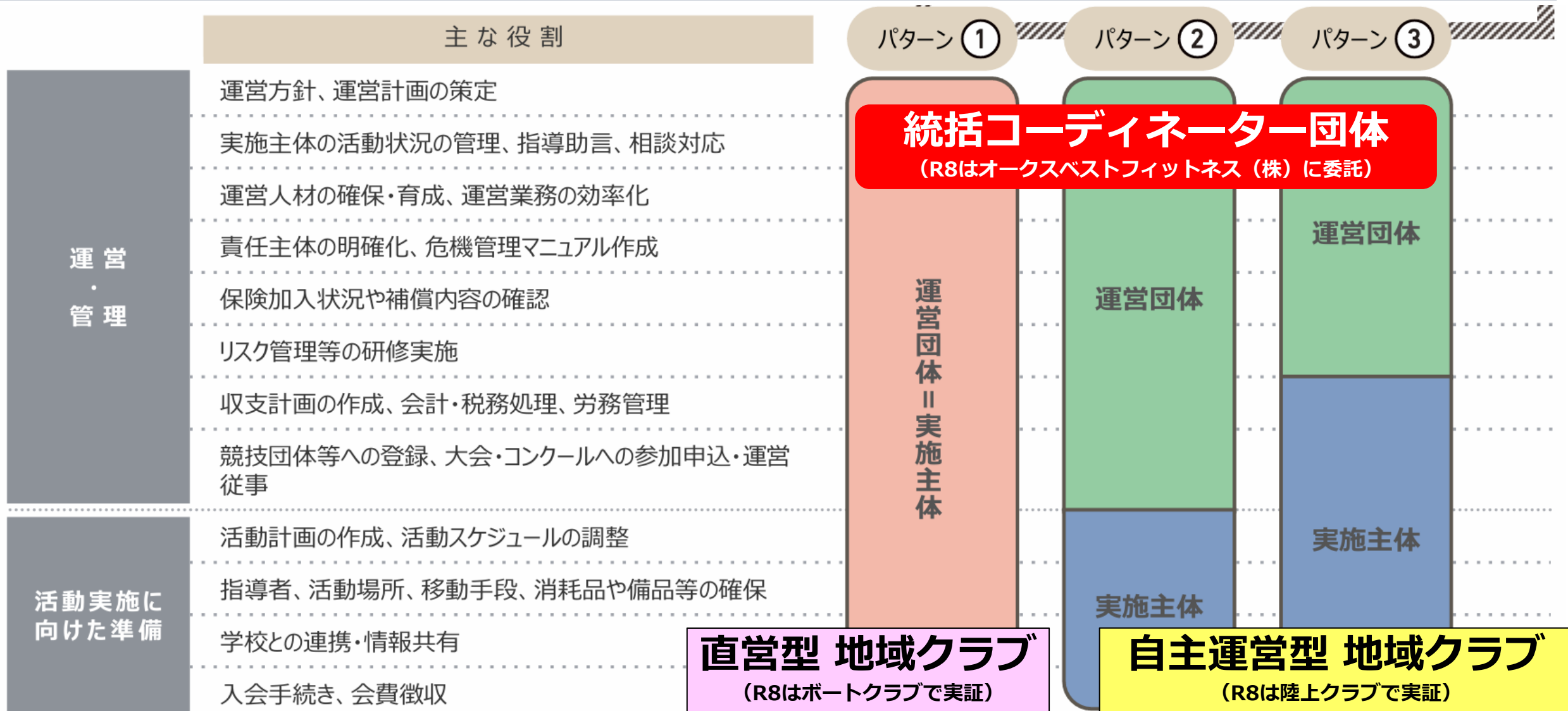
※生徒が希望する種目の団体がない
場合などに設置を検討

直営型 地域クラブ

戸田市認定地域クラブ

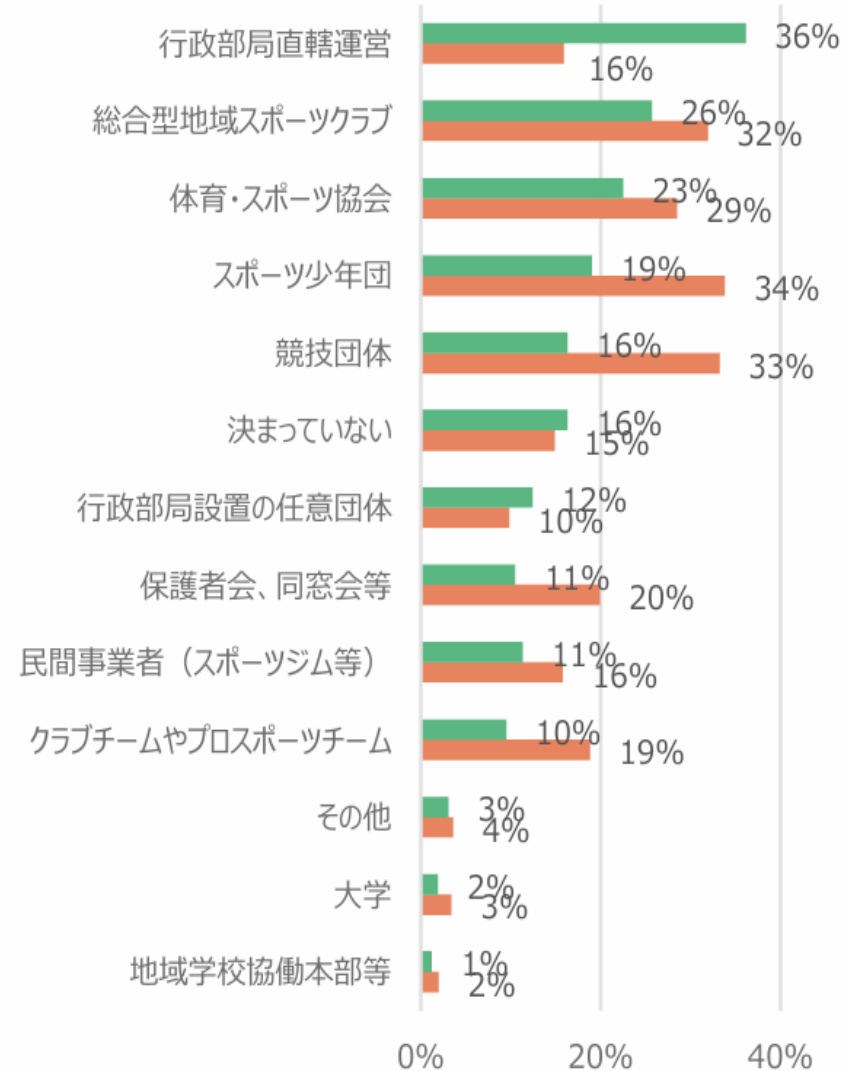
民間等のスポーツ・
文化芸術活動

統括コーディネーター団体（運営団体）の役割について



地域クラブ活動における運営団体・実施主体の種別と事例

(運営団体：n=1,081、実施主体：n=1,073)



CASE STUDY

■ 運営団体
■ 実施主体

行政が直接運営

富山県黒部市

運営団体

黒部市教育委員会

◆ 黒部市教育委員会を運営主体として、地方公共団体が直接地域クラブ活動を運営している

地方公共団体と一般社団法人が協定

千葉県柏市

運営団体

一般社団法人柏スポーツ文化推進協会（KSCA）

◆ 学校と地域が一体となり未来を担う子供たちの成長を支えていくことを目指し、一般社団法人が総合窓口となり行政協働で地域クラブ活動を運営している

運営団体をスポーツ団体等へ委託

長崎県長与町

運営団体

特定非営利活動法人
総合型SC長与スポーツクラブ

◆ 総合型地域スポーツクラブである「長与スポーツクラブ」が主体となり、地域クラブ活動を運営している

地方公共団体が運営団体を設立

静岡県裾野市

運営団体

特定非営利活動法人
アクティブすその

◆ 運営団体として特定非営利活動法人を立ち上げ、教育委員会と連携しながら、コーディネーターが中核となり、地域クラブ活動を運営している

戸田市におけるこれまでの運営体制と今後の方向性

OR4～R8実証事業

民間事業者に委託して実施

- R4 リーフラス株式会社
- R5 リーフラス株式会社
- R6 JR東日本スポーツ株式会社
- R7 株式会社サクシード
- R8 株式会社オークスベストフィットネス

【これまでの成果と課題（事後アンケートより）】

- 専門的な指導が受けられてよかった
- 運営・管理や連絡体制に安心感があった
- ▲指導者が毎年変わってしまうのは不安（生徒）
- ▲連絡体制やアプリが毎年変わり、手続きが煩雑（保護者）
- ▲通年で実施してほしい（顧問）

【地域クラブに求められる価値】

- 将来にわたって生徒が継続的にスポーツに親しむ機会の確保・充実
- 生徒が希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備
- 部活動の教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出

○協議の視点

- ①持続可能な運営体制を構築するために、どのような運営体制を確立すべきか
- ②統括コーディネーターを担う団体として、戸田市の場合はどのようなケースが考えられるか

協議

(2) 受益者負担の目安について

認定制度に関するQ&A

◆認定要件③

「国が示す参加費等の金額の目安を踏まえつつ、地域の実情や競技種目等の特性等に応じて、地域クラブ活動を持続的・安定的に運営していくために必要な範囲で、可能な限り低廉な参加費等が設定されていること」とあるが、どのように参加費等を設定することを想定しているのか。

(答)

地域クラブ活動における参加費の実態や保護者が妥当と考える水準等を踏まえ、令和7年12月26日付けの事務連絡において、参加費のイメージとして以下のとおり示しており、これらの内容を踏まえつつ、参加費等を設定していただくことを想定しています。

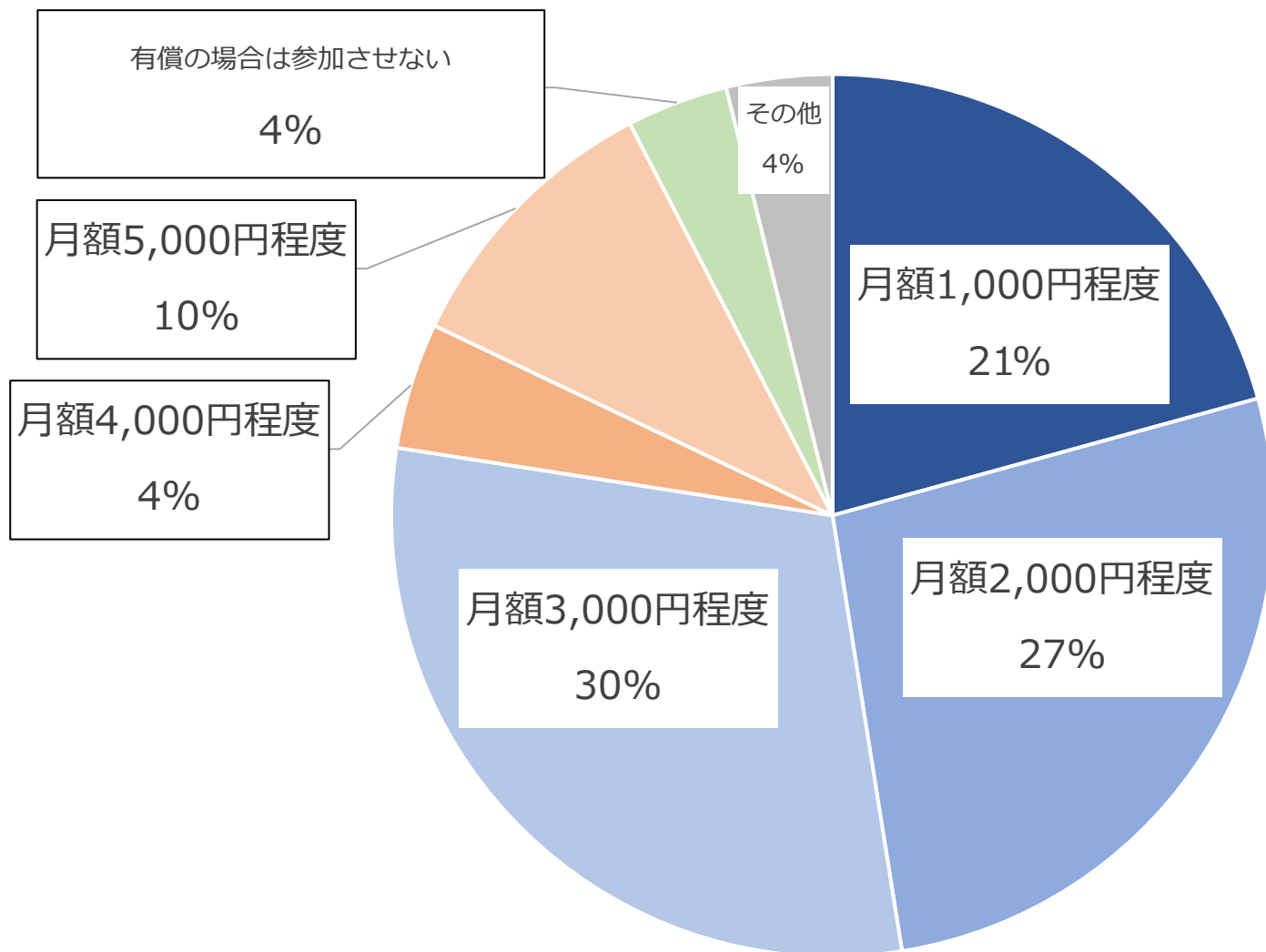
なお、参加費等の設定に当たっては、地域クラブ活動を持続的・安定的に運営していくために必要な範囲の金額となっているかなどについて検討いただきたいと考えています。

【参考：参加費のイメージ】

- 休日に週1日・月4日程度の活動を実施する場合、月額1,000円～3,000円程度を参加費のイメージとする。
- ただし、これはあくまでイメージであり、地域の実情や、実施回数、実施体制、競技種目等の特性などの実態を踏まえ、例えば、月額数百円程度や月額4,000円程度とすることなども含め、多様な設定があり得る。
- 地方公共団体の判断によっては、参加費を徴収せず、参加費相当額を地方公共団体が負担し、全て公費負担で運営するということもあり得る。

(保護者) 受益者負担の金額について

月額に参加費がいくらまでなら、休日の地域クラブに参加させたいと思いますか。



n=1286(34%)

【その他】の意見から

- ・ 内容が納得できるものであれば負担したい。
(専門的な指導が受けられるなど)
- ・ 500円ワンコイン制だと参加しやすい。
- ・ 種目等によって金額は変わるものだと考えている。
- ・ 休日の部活動がなくなる分、部費が減額されるとよい。
- ・ できれば無料がよい。

受益者負担の金額に関する 近隣市町村の状況 ※各市のHPより抜粋

○白岡市の場合（R6 11月から休日完全実施）

- ・年会費 なし
- ・保険料 800円
- ・参加費 一律月2,500円
(月4回を基本としているため)
- ・アプリ使用料 (参加費に含まれる)
- ・消耗品等 集金なし

※今後、金額の見直しも検討
(全体の金額や種目ごとの設定)

○上尾市の場合（R8 8月から休日完全実施）

- ・年会費 3,300円
- ・保険料 (年会費に含まれる)
- ・参加費 種目ごとに設定
(クラブ毎に実施回数が異なるため)
- ・アプリ使用料 月150円
- ・消耗品等 必要によりクラブごとに設定

○協議の視点

月額に参加費の設定について

- ・一律の金額がよいか
- ・一定の範囲内で種目ごとに金額を設定するか

※詳細な金額の試算については、次回の検討委員会で報告